
笑えない、わたし…

瞬

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

笑えない、わたし…

【NZコード】

N4840Y

【作者名】

瞬

【あらすじ】

事故で、目を失明してしまった、中学3年生の櫻木 愛花。

毎日、目が見えない寂しさから、愛花を開放してくれたのは、

高校1年生の早川 龍。

こんな一人の切なく、悲しい、お話を…

プロローグ（前書き）

初めてかくのでよろしくお願いします（＊、＊、＊）

プロローグ

あの時、私の運命は変わった。
何も見えない寂しさを知った

毎日、絶望という名の道をひたすら歩くだけの日々
そんな私に手を差し伸べてくれたのは、
あなたでした

最後まで、あなたの顔は、見れなかつた
けど、あなたに出逢えて、本当によかつたと思つ

時には、神様を憎み、
時には、神様に感謝し、
神様にすがつっていた、私…

あの時、あなたに伝えれなかつた、
想いが沢山ある。

この物語に、あなたへの想いをのせて…

今でも、大好きだよ…
愛してる…

プロローグ（後書き）

次回もおたのしみに…

第一章 運命逆転（前書き）

まいじくお願ひします

第1章 運命逆転

私の名前は、櫻木 愛花

中学3年生

只今、卒業シーズン

受験も無事終わったし、毎日が楽しそうで、一ヤケちやうへーーー

そんなある日、一人寂しく学校から帰っているとき、

私は、なぜだか、コンビニに行つた

あの時、コンビニになんて寄らなければ、

私は、こんなにも辛い田に合わなくてよかつたんだよね…

コンビニに入つて、最初に田についたのは、おでん

「まだ、寒いよな…」

そつそつやいて、結局、何も買わなかつた。

何も買わず、コンビニを出て「近道しよう!」と思つて、

公園の中を通つた

よしー! もうちょっとで家に着く

あーー! ヤバ、信号が点滅し始めた
私は、ダッシュで信号まで走つた

よしーーー間に合つ

ダツダツダツダ…

「ふー、プーパー」

私は、そのとき、怖くて怖くて、身動きがとれなかつた。
もつと、早く気づいていれば、
こんなさみしい思いしなかつたのに…

第1章 運命逆転（後書き）

次回もおたのしみに…

おじいちゃんの夢…（おじいちゃん）

おじいちゃんの夢…（おじいちゃん）

どん底のはじまり…

私が、意識を取り戻したのは、事故の3ヶ月後
「あー！！！ 愛花の意識が戻った！！！」

あれ？私の周りに誰かいる

声は、お母さん

けど、目があかない。

どうして？自分では、開けている感覚がある。

私は、お母さんに、

「お母さん、私、目があかないんだけど、なんで開かないの？」

お母さんは、言葉を失つた。

「ねえ、なんでなの？」

もう私は。そのとき分かつっていたのかも知れない…
この先、目が見えない、辛さと現実を受け止めていかないことを…

私は、お母さんを問い合わせた。
そしてお母さんから出た言葉。

それは…

「愛花…

あなたの目は、これから一生見えないの…」

え… なんで？

私は、咄嗟に、

「どうせ冗談なんでしょう…！！！」

そんなぐだりない嘘、つかないでよね

.....

「んな沈黙を破つたのは、お父さんだった

「愛花すまん。

[冗談じやないんだよ…]

ふん底のはじまつ…（後書き）

次回もおたのしみに

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4840y/>

笑えない、わたし…

2011年11月17日19時02分発行